

大学見学時の情報保障を考え、依頼しよう

【対象生徒】高等部1年普通科Aコース(大学進学希望)

【自立活動の項目】健(4)、心(3)、人(2)、コ(4)(5)

【ねらい】

- ①情報保障の種類とそれぞれの特性や利点を理解する。
- ②自分の聞こえの状態や状況に適した情報保障を選択し、依頼する。

【題材のポイント】

- ・大学見学の機会を捉え、実際に依頼、体験するところまで生徒に任せた。
- ・「ノートテイク」「PC要約筆記」「手話通訳」「音声認識アプリ」「ロジャー」等を用い、自分に必要な手段を考えられるようにした。

【生徒の様子】

事前

- ・情報保障の体験を通じ、「タイムリーに情報を得たい」「確実に理解するために文字情報が必要だ」といった気付きを得、自分にとって最も理解しやすい手段は何かを考えた。
- ・実際に情報保障を必要とする場面を想像し、複数の手段を組み合わせることが有効だと知り、選択した。

実施後

- ・専門用語が文字で示されたことで、聞き慣れない語句も漢字表記により、大まかな意味を把握できるという利点に気付いた。
- ・情報が確実に得られることで、学習内容の理解に集中できることを実感した。安心感にもつながった。

「僕たちは聞こえづらいので、マスクを外して声は大きくはっきりと話していただきたいです。このロジャーのマイクは音声認識アプリに接続されているので、首からかけていただけるとありがたいです。」



模擬講義の前に、大学教員に情報保障を依頼している場面

【生徒の感想】

- ・講義では、口形を見せてゆっくり話すなど、ご配慮くださり、安心してお話を聞くことができた。
- ・専門用語は文字で確認することができた。
- ・専門性の高い講義でとても難しかったが、工学について知るいい機会になった。

※大学見学及び情報保障に関して、秋田県立大学本荘キャンパスの皆様にご理解・ご協力いただきました。